創刊3000号 これからの観光経済新聞に望む

週刊

順不同

良質のニュース提供を
瀧多賀男・日本温泉協会名誉会長

観光業界の専門紙として創刊3千号を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

インターネットの普及は紙媒体に少なからず影響を与えているようですが、毎週新聞発行を続けていることに敬意を表します。

前社長の江口恒明さんは、私が会長を務めた日本温泉協会の活動を高く評価され、紙面を通じて応援していただきました。今では懐かしい思い出です。

積田朋子社長のもと、社員が一丸となって新聞制作に取り組んでおられ、「観光業界の発展のために」という報道姿勢を今後とも貫き、われわれに良質のニュースを提供していただきたいと思います。

最後に、貴社のご活躍とご発展を祈念いたします。

業界と行政動かす役割を
佐藤義正・日本の宿懇話会代表世話人

1950年に創刊された旅館新聞が旅館の経営と地位向上に果たした功績は大です。日本の伝統文化を守りつつ経営に困難をしていた時代に創業者江口社長の論陣に啓発され、幾度もの危機をわれわれは乗り越えてきました。

1981年に改名した観光経済新聞は国際観光の重要性を力説し、今日のインバウンド隆盛の基となりました。さらに時代は大きく変化し、かつてないほどの人口減少に直面しています。それは需要の減少と、供給サイドの人手不足という困難をもたらしています。

業界紙としての御紙に期待することは、この大きな課題克服に、われわれの指針となるような論陣を張って、業界と行政を動かす役割を担っていただきたい。積田社長を中心として役職員皆さんの観光振興への熱い思いに期待します。

4000号に向けて邁進を願う
近兼孝休・琴平グランドホテル会長

貴社の創刊3千号を心よりお祝い申し上げます。先代の社長をはじめ貴社から永きにわたって多くの薫陶をいただいた者の1人として心より賛辞を送らせていただきます。

現在、わが国の観光は、インバウンドの急激な増加もあって、過去の慣習や常識が通用しなくなるのではないかと危惧されるほどに大きな変革期を迎えております。現場でお客さまをお迎えする私たちは日々新たな発見と同時に日本の伝統文化を継承するために努力を続けております。言うまでもなく、観光業は日本の産業を支える大きな柱にならなければなりません。観光と文化を融合した視点から新たな視野が開けていくものと思っております。

貴社が観光業界のけん引車に留まらず行政との間に立たれ、公平な視点から新しい観光形態の創成とともに創刊4千号に向けて邁進（まいしん）していただくことを願っております。

旅館の成長に役立つ記事を
針谷了・湯元舘会長

経済成長に向けて政府は、1人当たりGDP、1人当たり生産性を高める施策を次々に打ち出しています。その一つ、最低賃金の引き上げは、消費の促進が期待されますが、生産性が高められず、人件費上昇に耐えられない企業は淘汰（とうた）されます。

数年続いた好況とインバウンドの増加で旅館業は潤いましたが、今後は総合力、とりわけ生産性の高い旅館だけが生き残るでしょう。顧客目線などビジネスの原則、基本を大切にすべきです。

政府は労働生産性だけでなく、資本生産性を高めるIT化や機械化を推進し、全要素生産性を高めるため、ブランディングなどの付加価値創出の支援策も強化してくると思います。

こうした動きを見据え、旅館業の成長に役立つ記事を期待します。

情報収集と辛口批評期待
北原茂樹・日本旅館協会会長

創刊3千号と聞いて、改めて歴史の重みを感じます。思えば私も京都府旅館環境衛生同業組合青年部に入らせていただいて40年になりますが、60年以上にわたり業界紙として業界に温かい支援と熱いエールを送っていただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今も観光指針と題したコラムは貴重なご意見として参考にさせて頂いております。

令和の御代に入って、外国人雇用枠の拡大、労働生産性の改善を業界の最重要課題と位置づけ宿泊業界4団体が力を結集して取り組んでおります。外国人の観光客および労働者の増加が今後の日本社会に与える影響は極めて甚大であります。物事は最初が肝心であり、50年後、100年後のあるべき姿をしっかりと見据えて制度設計をしてゆかねばなりません。

観光経済新聞社の記事はわれわれにとってきわめて重要な指針となっております、これからも情報収集と辛口の批評を期待してやみません。

地方創生へ寄与できる観光
渡邉和裕・日本旅館協会副会長

創刊3千号の発刊、誠におめでとうございます。貴紙が、現在まで観光振興に果たされた功績に心から敬意を表します。

観光産業を取り巻く環境は、インバウンド需要の高まり、インターネットの普及により急速に変化していますが、東北においては、東日本大震災から8年が経過してもなお、津波や原発事故からの復旧復興は、緒についたばかりであり、これらの風評と風化が地域の発展を著しく阻害しているのが現状です。観光が被災地支援にとって有効な手段であり、地方創生に大きく寄与する産業として確立されれば、観光産業の新たな展開も見えてくるものと思われます。

貴紙が業界のオピニオンリーダーとしての役割を遺憾なく発揮され観光の振興に寄与されんことを祈念し、お祝いの言葉と致します。

有用な情報提供に期待
竹内順一・日本旅館協会副会長

御紙が、1950年4月創刊以来、長きにわたり日本の観光振興に寄与され、本号で記念すべき3千号を達成されましたことにお祝い申し上げます。

以前の観光業界は、社会的地位も低く見られがちで、行政の関心も薄かったように思います。しかし、2008年10月に観光庁が設立され、状況は一変し「観光立国」を旗印に大きく観光産業が発展し始めました。

そんな中で、観光業界誌のトップリーダーとしてあり続ける御紙には、ますますの情報の提供、業界への示唆を期待しているところです。

現状としては、人口減少による国内市場の縮小により、外国人観光客の取り込みが急務となってきております。発地国ごとの海外旅行事情、旅行客の興味、消費金額、団体客やFITの動向、そして各国の海外旅行市場の変化等々一企業で収集できない有用な情報の提供をお願いいたします。

末筆になりましたが、これからも観光業界発展にご貢献いただいておりますことに感謝申し上げると共に期待いたしております。

持続可能な観光先進国へ
富井松一・日本旅館協会副会長

創刊3千号を心からお祝い申し上げます。

業界と日本の活気づけを
片岡哲司・日本旅館協会副会長

業界紙は、先進的なイノベーションの情報を提示し業界の利益増進に寄与し繁栄こそが発展につながるという前提にたち、正しい意味での一体感を盛り上げる必要があり、マスメディアの一分野であり、業界の良き理解者として、業界と共にあるべきで、指導的な立場をとるべきである。このような観点から現況の観光産業は少子高齢化により地域経済が縮小していく環境のもと観光によって地域全体で交流人口の拡大を図り、地方創生の大きな役割を担っています。この役割はDMOの確立です。特に世界水準のDMOの確立には他の産業、文化、環境などの幅広い分野と連携し、経済政策だけでなく地域の総合政策として取り組む必要があります。

以上のような状況の中、わが観光産業が基幹産業として成長させ持続可能な観光先進国に向けて発展させていくために貴紙はオピニオンリーダーとして非常に重要な役割を担っていただくことを大いに期待しております。

創刊3千号を心よりお祝い申し上げます。

貴紙が長年にわたりわれわれ宿泊産業の成長、発展に寄与いただいたことに深く感謝を申し上げ、われわれの業界へのご指導を今後ともお願いいたします。

関西の宿泊業はインバウンドの増加が著しく、国の施策もタイミングよく発揮され活気を擁しております。先のG20も大阪で開催され、ラグビーワールドカップ、翌年の東京オリンピックパラリンピック、そして2025年の大阪万博へと続く道が見えております。

多くの方々のご協力のもと、元気な関西をアピールすることで、われわれの業界を活気づけ、ひいては日本を活気づければと思います。

今後ともわれわれの業界と共に歩んでまいりましょう。

良識あるメディアとして
永山久徳・日本旅館協会副会長

貴紙の創刊3千号を心からお祝い申し上げます。

一昔前の業界新聞はシェアの推移や法制度などの業界内課題を紹介、論評する報道がメインだったものが、ここ数年で住宅宿泊事業法の施行や海外旅行予約サイトのシェア拡大などの環境激変を受け、社会問題や国際問題までもが業界の知るべき対象になりました。

また、インバウンドブームや政府の方針に呼応するように、業界関係者以外にも観光産業に興味を持つ人が増えています。

そのような層に向けて「観光経済ドットコム」においてWEBでの記事展開も積極的に行われていることで、貴紙を求めるターゲットも加速度的に増加しています。

今後も良識あるメディアの一つとして、客観的かつ正義に根ざした質の高い報道を期待しております。

業界全体の行動指針に
新山富左衛門・日本旅館協会副会長

創刊3千号心よりお祝い申し上げますとともに、関係者の皆さまのご功績とご努力に対し衷心より敬意を表します。

昨今、地域経済活性化、地方創生の大きな手段として観光振興による交流人口拡大が、国の大きな柱として掲げられております。

そのような中、貴紙におかれましては、国のさまざまな観光政策や統計、旅行動向、また全国津々浦々の観光交通情報やキャンペーンなど多くの情報をタイムリーに提供いただいており、自治体や旅行会社、観光業界のみならずサービス産業全体としても重要な行動指針となる業界紙として定着をしております。

今後も観光経済情報紙のオピニオンリーダーとしてご活躍を期待しております。

分析記事の充実を期待
鶴田浩一郎・日本旅館協会副会長

記念すべき創刊3千号、心からお喜び申し上げます。1950年創刊と、わが国の観光産業の萌芽期から、国際化時代を迎えた現在に到るまで、長きにわたり最新の情報提供の先駆けであったことに深く敬意を表します。

私自身、宿泊業界に入った80年代、観光情報といえば、まず貴紙の紙面であり、30年以上にわたり欠かさず目を通しております。

ICT時代に入り、とくに14年以降、観光の国際化時代を迎え、情報はインターネットで増殖しています。このようなかつ一層、紙とネット媒体の両者の特性を生かしながら、さらに速報性が高まり、観光産業の分析記事を充実されることを期待しております。

新聞の役割は非常に重要
佐藤英之・日本旅館協会専務理事

創刊3千号を迎えられえたことを心よりお祝いいたします。

60年以上にわたり観光業界を支えられたことに敬意を表します。

今でこそ観光が産業として脚光を浴びていますが、隔世の感があります。

過去には観光は遊びという認識が一般的で国、自治体とも観光に予算を付けるという感覚は本当に低かったものです。

今や観光は日本の基幹産業として成長しつつあります。

宿泊業界も基幹産業の一翼を担う自覚を持ち、生産性の向上、職場環境の改善などを進め優秀な人材が集まる業界へと変貌していかなければなりません。

そのためにも発信力のある観光経済新聞の役割は非常に重要です。

引き続き、貴紙が観光業界の発展に寄与されることを祈念いたしております。

変化に即応した「解」を
山口英次・全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）常任顧問

令和という新時代は第四次産業革命が本格化する時期であるといえます。この大きな節目と時を同じくして他の観光紙にもその例を見ない記念すべき3千号を創刊され心からお祝い申し上げます。そしてこの日を誰よりも喜ばれているのは御社の中興の祖というべき泉下の先代社長ではと思いをめぐらせています。

さて産業革命がもたらすものはAIを搭載したロボットやデジタル機器といった時代を象徴するものが進出し平成の時代とは全く違った景色が出現するといえます。とすれば観光分野においてもこの変化に即応しなければなりません。貴紙の役割はその変化の先にあるのは何か、先見性をもって「解」を見いだし読者の期待に応えていただくことが何よりも求められているものと思っています。

業界の情報を多くの読者に
佐藤信幸・全旅連常任顧問

観光経済新聞3千号発行おめでとうございます。

全旅連の広報誌であるマンスリーは、月1度発行しています。それに対して、観光経済新聞は、月4度発行され、旅行業界関係者だけでなく、官公庁も購読していると聞いています。

わが業界の問題は税制や耐震、民泊、NHK受信料など政治的な課題も多く、業界だけでなく多くの方々に知ってもらうことが大切だと思います。

観光経済新聞さんは、業界の声を活字にし、多くの方々に伝えてくれている大切な情報紙です。これまでも、業界活動に大きな支援をしていただいていると思っています。今後とも、業界の情報を多くの読者に届けていただきたいと思います。

（山形県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長）

宿泊客の満足度を向上させるお手伝い

近畿日本ツーリスト商事、ミキモト・グループが贈る、真珠から生まれた、うるおいのヘア&スキンケア

「世界中の女性を真珠で美しく飾りたい」

そう願ってきたミキモト・グループが、真珠の中に肌の乾燥を改善する希少な成分があることを発見したのは、およそ40年前のこと。以降、真珠を徹底した化学の目で見つめ続けてきました。

類い稀な美しさと、生命力を秘めている「真珠」。その神秘的なパワーが注ぎ込まれた真珠の美力がつややかで、しっとり潤う髪と素肌へ導きます。

ホテル・旅館限定商品

バスルームに広がる、「フローラルフルーティーマリン」のみずみずしくナチュラルな香り。贅と気品にあふれた至福の時をお楽しみください。

・シャンプー・コンディショナー・ボディソープ

お食事の時間も更に楽しく色とりどりのお洒落箸

「おしゃれ・かわいい・種類豊富・丈夫」の4つを兼ね備えた新しいエコ箸。食事の際は食卓を彩り、お帰りの際には旅の思い出としてお土産にもピッタリです◎

エコロジー志向の高いE&Sバスアメニティシリーズ

シャンプー、コンディショナーは昨今注目されております、ノンシリコンを採用。植物性洗浄料をベースにした、人にも環境にも優しい高品質・安心・安全のオリジナルバスアメニティーです。

セントウェーブ ＜フレグランスコミュニケーション＞

scentair

―【心地よい香り】は、お客様の五感に訴求して好き、心地よい、楽しいといった感情を呼び起こします。

世界が認めた香りのトップブランド

セントエアー社のセントウェーブ（芳香器）はフレグランスの安全性を保障する企業としてIFRA(※)に登録されており、特定された香料中のアレルギー原因物質を取り除いた香料のみを使用しています。安全で使い方も簡単な為、宿泊施設や病院、クリニックの待合室、銀行の窓口、アミューズメント施設に至るまであらゆる場所で使用されています。

※IFRA　国際香料協会

近畿日本ツーリスト

株式会社近畿日本ツーリスト商事

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14-24　西新宿KFビル502

TEL03-6890-9660 FAX03-6890-6608

（協賛：近畿日本ツーリスト商事　販売協力会）

営業所一覧

札幌商事営業所	011-241-9001	信越商事営業所	025-245-5252	福岡商事営業所	092-282-5307
仙台商事営業所	022-263-7915	金沢商事営業所	076-224-6624	保険センター	03-6890-9662
北関東商事営業所	027-367-9731	名古屋商事営業所	052-561-8743	㈱近畿日本ツーリスト沖縄	098-864-1166
東京商事営業所	03-6890-9661	大阪商事営業所	06-6649-0521		
熱海商事営業所	0557-85-5327	広島商事営業所	082-534-5822		